

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：東北ブロック

ツノナシオキアミ

海域	太平洋北部	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、岩手県水産技術センター、宮城県水産技術総合センター、福島県水産資源研究所、茨城県水産試験場
----	-------	------	---

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報収集調査を実施した
- ・各県は漁獲統計調査を実施した
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施した

(2) データ収集状況

- ・岩手県では1998～2021年の漁法別漁獲量を収集済み
2022年の漁法別漁獲量を収集中
- ・宮城県では1996～2021年の日別漁法別漁獲量を収集済み
2022年の日別漁法別漁獲量を収集中
- ・福島県では1974～2021年の漁法別漁獲量を収集済み
2022年の漁法別漁獲量を収集中
- ・茨城県では1990～2021年の漁法別漁獲量を収集済み
2022年の漁法別漁獲量を収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊： 文献から情報収集済み
- (2) 年齢・成長： 文献から情報収集中
- (3) 成熟・産卵： 文献から情報収集中
- (4) 被捕食関係： 文献から情報収集済み

(4) 備考

- ・当該資源は主に船びき網漁業により漁獲されている。1993年以降、岩手県・宮城県・福島県・茨城県の漁業団体代表者会議により各県の漁獲上限量が漁期前に設定されるため、盛漁期のCPUEは漁獲上限量に規定されることが多く、CPUEを用いて海域全体の資源状態を把握することは困難である